

サステナビリティ推進のための体制

当社では、サステナブルな社会の実現とともに、当社の企業価値を向上させるべくサステナビリティ活動を推進しています。当社のサステナビリティ推進体制をご紹介します。

企業理念

人を大切に、技を大切に

Mission
存在意義

人の絆、自然環境と融和した技術の開発を大切にし、
化学という無限の可能性で夢を実現する

サステナビリティ基本方針

日本化学工業は「人を大切に、技を大切に」の企業理念に基づき、ステークホルダーとの対話と価値創造を通じて社会課題の解決を図り、地球規模まで視野に入れたあらゆる「人」の幸せと持続可能な社会の実現に取り組みます。

- 事業活動を通じて、環境負荷を低減し、地球温暖化防止に取り組みます。
 - 環境に配慮した製品を提供し、低炭素社会、循環経済の実現を目指します。
 - 社会貢献活動を積極的に推進し、地域社会の活性化や信頼関係の醸成を目指します。
 - 人権・労働・安全・環境等、事業活動に適用されるすべての法令や規則を厳格に遵守します。
- 社会課題の解決に貢献する製品の開発と販売を促進します。
 - 多様化する働き方やワークライフバランスを重視した職場環境の構築を進めます。
 - サプライヤーから顧客にいたる強靱なサプライチェーンを構築します。

コンプライアンス

基本的姿勢

企業理念およびサステナビリティ基本方針を受け、製品や技術を通して、会社がステークホルダー（顧客、株主、取引先、社員と社会）と良好な関係を構築し、維持するために、会社が取るべき基本的姿勢を定めております。その概要は、以下の通りです。

- ❶ 法令、国際社会のルール、契約、規定などを遵守し、社会的良識に基づいた企業活動を行います。
 - ❷ 顧客ニーズに適合するトップレベルの製品とサービスをタイムリーに提供します。
 - ❸ 職場の安全と社員の健康を守り、健全な職場環境を確保します。
- ❹ 社員一人一人が心豊かに生きることができるよう、人格と個性を尊重した人材育成を推進します。
 - ❺ 地球環境をより良い状態に保全することを意識し、企業活動を行います。

コンプライアンス基本方針

- ❶ 人権の尊重と健全な職場環境
 - (1) 人権尊重及び差別・ハラスメント等の禁止
 - ❷ 関係法令等の遵守
 - (1) 公正な競争
 - (2) 腐敗の防止
 - (3) 業法の遵守
- ❸ 会社財産の保護
 - (1) 情報管理
 - (2) 知的財産権、ITシステムの適切な保護と管理
 - (3) 利益相反行為の禁止
- ❹ 社会要請への対応
 - (1) 環境保全
 - (2) 反社会的勢力との関係の遮断
 - (3) ステークホルダーエンゲージメント
 - (4) サステナブルな社会の実現

私たちは、これらの実践を自らの重要な役割として、率先垂範し、社内組織への周知徹底と定着化に最大限注力して、社会との信頼の向上に努めます。

リスクマネジメント

リスクへの取り組み

会社経営に重大な損失を与える危機に関し、危機的状況に陥らないようリスクを回避、最小化、抑制するための最適な処理方法を多面的に検討し、費用と効果を勘案して取り組んでおります。当社ではリスクを下記のように分類しています。

リスク種別	定義	分類
社会リスク	社会生活を行ううえで主体的な予防が困難なリスク	①自然災害(地震、台風、津波など) ②テロ、暴動、戦争、環境破壊、疫病など
業務リスク	事業活動を行ううえで生じるリスク	③保安事故(火災、爆発、労働災害、交通事故など) ④環境汚染 ⑤情報インフラの停止 ⑥訴訟、クレーム ⑦知的財産権侵害 ⑧主要取引先の倒産、主要原材料の入手困難など ⑨為替・金利・株価等市場の変動など ⑩事務処理の不具合など
人的リスク	会社として集団で活動するうえで生じる組織や人に関するリスク	⑪機密漏洩 ⑫コンプライアンス違反 ⑬脅迫、内部告発、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなど

情報セキュリティ

リモートワークの進展により、情報セキュリティの重要性はますます増加しています。社員教育、インフラの整備等セキュリティ対策強化を図っています。

情報セキュリティに関する情報は、日々変化するため、最新情報の入手に努め、自社の対策に役立てています。

事業継続計画（BCP）

当社は、総合的な化学製品製造販売企業として、各種製品を広く国内・国外に供給しています。化学製品は社会生活上で必須のものであり、当社の製品供給責任は大変に重いと考えています。この社会的なミッションを安定的に果たしていくために、事業継続計画として日本化学事業継続計画(NBCP)を策定しています。その方針は下記の通りです。

- ❶ 従業員とその家族の安否の確認と、安全の確保を図る。
- ❷ 会社施設・資産の保全、機能の早期復旧と正常化を図る。
- ❸ 製品の生産、出荷の継続を図る。
- ❹ 社会的責任を全うする。
- ❺ システムの継続的改善を図る。

■ NBCP策定・運用体制

インシデント発生 → 初期活動の終了 → 仮復旧 → 本格復旧

事業継続計画 (NBCP) 策定・運用体制のフローチャート。インシデント発生から事前対応までの流れを示す。インシデント発生後、事業継続計画（NBCP）に基づき、初期活動、仮復旧、本格復旧の順に進む。この過程で、BCP対策本部が中心となり、対応を進める。最終的に事前対応へとつながる。